

平成25年度 第2回小平市公民館運営審議会 会議要録

- 1 開催日時 平成25年5月21日(火) 13:30~15:30
- 2 開催場所 小平市中央公民館 会議室
- 3 出席者 小平市公民館運営審議会委員 10名(3名欠席)  
事務局 中央公民館長、館長補佐、管理係長、分館主査8名(2名欠席)
- 4 傍聴者 1名
- 5 配布資料 (1) 平成25年度公民館運営審議会計画表・・・・・・・・・・資料1  
(2) 平成25年度公民館まつり日程表・・・・・・・・・・資料2  
(3) 平成25年度東京都公民館連絡協議会定期総会議案書(写)  
新任職員研修チラシ・・・・・・・・・・資料3  
(4) 第54回関東甲信越静公民館研究大会  
兼第64回新潟県公民館大会開催要項・・・・・・・・・・資料4  
(5) こだいら公民館だより(128号)・・・・・・・・・・資料5  
(6) 平成24年度第7回小平市公民館運営審議会会議要録・・・・資料6  
(7) 平成25年度第1回小平市公民館運営審議会会議要録・・・・資料7  
(8) 社会教育デザイン新聞スフィア・・・・・・・・・・資料8  
(9) 提言書「小平市公民館のこれからに向けて」・・・・・・・・資料9  
(10) 平成25年度小平市八館会総会資料・・・・・・・・・・資料10  
(11) こだいらの公民館 平成24年度公民館事業実績・・・・資料11  
(12) 平成25年度小平市公民館定期講座実施状況表・・・・資料12  
(13) 平成25年度市民学習奨励学級募集要項・・・・・・・・・・資料13
- 6 次第 (1) 館長報告  
(2) 平成25年度公民館定期講座実施状況について  
(3) 平成25年度公民館まつり日程について  
(4) 平成25年度東京都公民館連絡協議会定期総会・職員部会・委員部会  
報告について  
(5) 平成25年度関東甲信越静公民館連絡協議会第1回理事会報告につい  
て  
(6) その他

## 会議の概要

### 1 館長報告

#### (1) 平成 25 年度補正予算について

公民館については、中央公民館西側駐車場とのブロック塀改修工事が予算化された。

#### (2) 小平市地域防災計画の見直しについて

東日本大震災の教訓や首都圏直下型地震の被害想定をもとに、小平市地域防災計画の見直しが行われることになった。素案は 5 月 28 日より HP に掲載され、6 月 27 日までパブリックコメントが実施される。

#### (3) 緑のカーテンの設置と職員の軽装期間について

中央公民館と可能な分館については、緑のカーテンを設置する。また、5 月 1 日から 10 月 31 日まで職員の軽装期間となっている。

### (質疑応答)

委 員 小平市では、公民館が避難所になっているとのことだが、小中学校と同じ役割の避難所になるのか。

事 務 局 現行の地域防災計画だと、小中学校と同じ役割の避難所になる。

委 員 備蓄倉庫等は完備しているのか。

事 務 局 各避難所に備蓄倉庫は設置されていない。災害時には、市の備蓄場所から各避難所に備蓄品が届けられることになっている。

委 員 他市も同じような状況か。

事 務 局 確認していない。

委 員 地域防災計画について、公民館の立場としてどのような意見を持っているか。

事 務 局 現行の地域防災計画では、緊急初動隊の訓練は小学校のみで行われており、中学校や公民館では実施されていない。見直しにあたって、今後どうするのかという発信はしている。

## 2 平成 25 年度公民館定期講座実施状況について

事務局より資料 12 について説明した。

(質疑応答)

- 委員 全体的に、多くの応募が来ているという印象を受けた。目を引くチラシを配布することが集客につながっているように感じられたが、チラシの作り方は工夫しているのか。
- 事務局 以前、公民館内部の広報プロジェクトの中で、広報の方法を検討した。それまでは、チラシ一つにしても、個々にかなり差があったが、情報を共有したり、HP 等さまざまなツールを使いこなすことで、広報が充実してきたのではないかと思う。
- 委員 職員だけでなく、市民も交えての、チラシの作り方講座やチラシコンクールを企画しても面白いのではないか。
- 事務局 今年度は、パソコン講座で「ワードでつくるチラシ・ポスター教室」を開講している。
- 委員 花小金井南公民館の家庭教育講座について、これだけの人数がチラシで集まったのはすごい。どこに何部配布したのか。
- 事務局 公民館だけでなく、例えば、保育園、幼稚園、児童館、子育て支援センター等、赤ちゃん連れのお母さんが出入りしそうなところに配布した。部数は場所によって変えている。
- 委員 家庭教育講座について、赤ちゃんとお母さんが一緒に受講する形の講座が多く、保育が少ないように見受けられるが、後期以降に開講予定の家庭教育講座はどのように予定されているか。
- 事務局 後期開講予定の講座は保育を予定している講座もある。乳幼児を対象にした講座だと、受講者のほぼ全員が保育を希望するが、保育を行う部屋の広さ等に限界があるため、赤ちゃんとお母さんが一緒に受講する形を取らざるを得ないという事情がある。

委員 市民学習奨励学級の要綱の改正について、どのような経緯で改正されたのか、詳しく知りたい。改正等については、事前に公民館運営審議会にも報告してほしい。

事務局 これまでは、手続きについて規定されていなかった部分があり、分かりにくいとの声があったため、新たに規定した。また、毎年抽選で実施団体を決定しているが、新しく応募する団体が増えており、実施頻度に偏りが出てきたため、これまで実施したことがない新規の団体を優先し、当該年度に実施した団体は翌年連続して実施できない旨を規定した。

3 平成 25 年度公民館まつり日程について

事務局より資料 2 について説明した。

4 平成 25 年度東京都公民館連絡協議会定期総会・職員部会・委員部会報告について

事務局より資料 3 及び第 1 回職員部会について報告した。

委員より第 1 回委員部会について報告した。

5 平成 25 年度関東甲信越静公民館連絡協議会第 1 回理事会報告について

事務局より、資料 4 について説明した。

6 その他

事務局より以下の点について報告した。

(1) 公民館講座のための意見交換会について

今年度は例年より早めに実施し、講座企画により意見を反映できるように調整を進めている。委員にはオブザーバーとして参加をお願いしたい。

(2) 夏休み学習室について

以前より、委員から、子どもたちが勉強を教えてもらえる場としても検討してほしいという声があったため、今年度、小川西町公民館で子どもたちに勉強を教えている教員の OB の団体の協力を得て、実施する方向で調整を進めている。

(3) 中央公民館フレンズ「結い」について

中央公民館では、昨年度の講座の中央公民館サークル結いプロジェクトから中央公民館フレンズ「結い」が立ち上がり、第 1 回目の「結いカフェ」が開催された。利用団体と職員との顔合わせや今後の公民館利用について話し合った。

(質疑応答)

- 委員 仲町公民館の部屋割り調整会議で、新仲町公民館について利用団体との意見交換があったとのことだが、その内容について聞きたい。
- 事務局 利用団体から、建替え前のアンケートや住民説明会で出た要望がどの程度反映されたのか報告すべきとの声があり、42 団体が参加して説明会を実施した。主に、駐車スペース、多目的室の使用方法、各部屋の備品の配置状況等について説明した。
- 委員 説明が足りない部分があると思うので、引き続き実施してほしい。
- 事務局 引き続き実施する予定で調整している。
- 委員 親子での講座参加が増えている。家庭教育講座等、親子で参加できる講座を増やす予定はないのか。
- 事務局 家庭教育講座は全館で実施しており、他の講座の需要もあるため、現段階で増やす予定はない。
- 委員 前回配布された小平市教育振興基本計画の中で、成熟化社会にふさわしい新たな公民館のあり方を検討するとあるが、具体的にどのような方向性をもっているのか。
- 事務局 成熟化社会とは、年齢層が高い市民社会という傾向があり、方向性については、以前示したものをもとに、公民館職員の公民館あり方検討プロジェクトチームと公民館運営審議会委員とで「公民館のあり方の検討」を進めてほしい。
- 委員 公民館の有料化や指定管理者制度等も検討するのか。有料化については、重要な問題なので、財政課の方で具体的に話が進んでいて、公民館運営審議会です突然報告されるのでは困る。小平市受益者負担の適正化検討委員会の検討結果は尊重しなければならないが、4年前から状況は変わっているので、決定事項として進めるのではなく、詳細な説明と現状に合わせた検討が必要ではないか。
- 事務局 有料化については、第二次行財政再構築プランの中では別の項目になっているため、「公民館のあり方の検討」とは切り離して考える。あくまでも、公民館としてどのような運営が望ましいかを検討する。現段階では、公民館について

は、指定管理者制度に移行する方向性は出ていない。

- 委員 教育振興基本計画に、学校教育、家庭教育、地域教育とあるが、公民館は地域教育になるのか。地域教育と社会教育はどう違うのか。
- 事務局 小平市では、学校と放課後子ども教室や青少年対策地区委員会等との連携における教育を地域教育と呼び、一方で、公民館や図書館等における教育を社会教育と呼んでいる。
- 委員 教育振興基本計画に載っているのは、すべて子どものための教育で、大人のための教育や社会教育については軽視されているように感じる。学校教育と公民館という視点でまとめられたものなのか。
- 事務局 結果的にそう見えるかもしれないが、社会教育縮小の方向性はない。小平市では、地域教育として、放課後子ども教室や青少年対策地区委員会の活動に力を入れてきた経緯があり、それが前面に出る形になった。
- 委員 何においても、最も重要なのは人づくりであり、学び合いの中で人を育てることができるのだと思う。その学ぶ権利を保障するためにも、公民館の有料化は絶対に反対だ。もし、有料化になるとしても、小平市が全国で最後になるように、ぜひ頑張ってもらいたい。
- 委員 これまでの行政主導で主催講座を実施して市民に楽しんで学んでもらうというところから、市民自身が学びを引き出し、地域に還元していこうという方向性が見える。ここに、公民館がしっかり関わっていかないと、公民館の地位はどんどん低下していく。市民が主体となる企画講座を奨励し、NPO や地域団体と連携し、学びと地域活動を繋げる拠点としての役割を果たさなければならないという大幅な転換を求められていると認識しているのか。
- 事務局 そのように認識している。「公民館のあり方の検討」の中でどのような方向を示していくか、公民館運営審議会委員と一緒に検討してほしい。

次回は、7月16日（火）午後1時30分より、中央公民館会議室にて開催する。